

特別支援学級のための音楽鑑賞教材研究Ⅲ

～実演奏による鑑賞授業～

宮下 茂（長崎大学教育学部）

Ⅰ はじめに

筆者は、平成19年2月23日に長崎大学教育学部附属養護学校（現特別支援学校）で開催された公開研究発表会に於ける中学部指導助言者の任を得た。それを切っ掛けとして、特別支援学校での音楽授業の内容に興味を抱いたと同時に、演奏家としても同様の興味を抱いた。そして、筆者の指導活動や演奏活動を特別支援学校の生徒に役立てることや、どのようにすれば役立てることができるか等を、考えるようになった。その後、約1年間にわたり特別支援学校並びに盲学校に於いて授業観察を行い、音楽授業に於ける指導目標として筆者の考えを明らかとした。（註1）

そのような中、平成20年1月21日に長崎大学教育学部附属特別支援学校中学部に於いて音楽授業を行う機会を得た。そこで、平成19年6月6、13、20日に長崎県立盲学校幼少部で行った、3回の鑑賞授業の授業（註2、註3）を基に鑑賞プログラムを再考し、今回の試行に備えた。

鑑賞授業全体の総合的テーマに「歌と音楽のおもしろさ（音の描写～どんな音？何の音？）」を打ちたて、休憩時間を挿んだ2回分の授業を続けて行った。各回のテーマは、以下に設定した。

- ・ 第1回テーマ「自然環境音と歌（含ピアノ曲）」
- ・ 第2回テーマ「自然環境音と物語（歌）」

本論分は、筆者の行った実演奏による鑑賞授業の試行内容を考察し、生徒の持つ様々な能力を伸ばす内容の音楽鑑賞プログラムの研究を行うものである。

Ⅱ 長崎大学教育学部附属特別支援学校中学部での実演奏による鑑賞授業

1. 第1回鑑賞授業の実施

第1回鑑賞授業では、テーマに「自然環境音と歌（含ピアノ曲）」を設定し、平成20年1月21日（月）11：00～12：30の授業の前半で実施した。

筆者がこれまでに観察した授業の中で、生徒は「観察力と模倣の能力」「音楽と映像の刺激を知識と想像に結び付ける能力」「言葉から導く想像力」「仲間と知識や意識を共有できる能力」等、様々な能力を見せていた。

それら生徒の優れた能力を確かめる意味もあり、この授業では自然音と演奏（音楽）を組み合わせた鑑賞を試みることにした。

コメントと演奏を交互に行い、コメントでは「音」に関連する話を、生徒の学習活動や生活活動の話題と絡め、できるだけゆっくりとした口調で行った。

尚、今回鑑賞する自然音は、市販の効果音 CD（註 4）の中から筆者のイメージにできるだけ近い音を選択し、鑑賞授業に加えた。

曲目、選択曲のテーマ、コメント内容等、具体的な内容は【表 1】を参照されたい。

【表 1】鑑賞指導内容 1「自然環境音と歌（含ピアノ曲）」

（コメント時間＋演奏時間＝合計 40 分）

テーマ	コメント内容（台本）	順序等	効果音	曲目
自然の音	<ul style="list-style-type: none"> 私たちの周りには様々な音を、教室から外に飛び出して聞いてみたいのですが…、代わりに色々な音を教室に持ってきました。 想像力を働かせると、ピアノの音の中からも、色々な音が聞こえてきます。 今日はピアノを主役に、色々な音を聴いてもらいます。 	1. 話		
風の音	<ul style="list-style-type: none"> 例えば「風の音」。 生徒の学習活動の話題（ホールでの発表会の練習で、ウチワで花の踊りを踊ってましたね。ウチワを扇ぐと「風」が起こる…でも、音はしませんでしたね。） 考えてみると風自体には音がありません。風が通ると色々な物にぶつかって、色々な音が聞こえてきます。 狭い所を通ると「ヒュー」、笛の中を通ると「ピー」、窓にぶつかって「ガタガタ…」、ドアにぶつかって「バタン！」。これは、何の音かな？ 	2. 効果音	「笛を揺らす静かな風」	
木の葉を揺らす風の音	<ul style="list-style-type: none"> 有名な作曲家シューベルトの歌「菩提樹」。 「菩提樹」は、ドイツにたくさんはえている大きな木。風は、その「菩提樹」のたくさんの葉を揺らします。その様子を、シューベルトはピアノの音で聴かせてくれます。 	3. 歌唱		菩提樹 （門馬直衛訳詞、シューベルト作曲） （第1節のみ演奏）

「海の音」「波の音」	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「木の葉をゆらす風の声」が聴こえたかな？ ・ こんな風に、音楽の中から色々な音が聴こえることがあります。 ・ 次の音はこんな音…。 	4. 効果音	「静かな波」	
	<ul style="list-style-type: none"> ・ ピアノの音も良く聞くと、寄せては返す「波の音」のようにも聴こえます。 	5. ピアノ		浜辺の歌 (林古溪 作詞、成 田為三作 曲)のピア ノ伴奏
		6. 歌唱		浜辺の歌 の演奏 (歌唱)
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「浜辺の歌」。よく聴くと「寄する波も～」のところで、「ゴツゴツ、ボコボコ」した感じがありました。こんな波のように…。 ・ これは、波が岩にぶつかる音です。 	7. 効果音	「磯波」	
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「砂山」ではピアノの音も良く聞くと、「波が岩にぶつかる音」のようにも聴こえます。 	8. 歌唱		砂山(北 原白秋作 詞、中山 晋平作曲) (第1・2 節のみ演 奏)
「雨の音」	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「水の音」が続いていますが…空から落ちてくる、こんな水の音もあります。 ・ そう「雨の音」です。 ・ 生徒の生活活動の話題(昨日もよく雨が降りましたね…) ・ 雨が降ると「パラパラ」「シトシト」雨音がこだまします。 	9. 効果音	「屋根にあたる雨」	

	<ul style="list-style-type: none"> ・「あめまめふれふれ母さんが…」という歌もありますが…。 ・ショパンの有名なピアノ曲に「雨だれ」があります。 ・しっとりとしたピアノソロを聴いてみましょう 	10. ピアノ		「24の前奏曲」から第15番「雨だれ」(ショパン)(冒頭部分のみピアノ演奏)
川の流れる音	<ul style="list-style-type: none"> ・「水の音シリーズ」になってきましたが… ・最後はこんな音… ・「水道の流れる音」にも聞こえますが…。 ・これは「川の流れる音」です。 	11. 効果音	「小さい流れ」	
	<ul style="list-style-type: none"> ・演奏から「川の流れる音」や「お魚のマス」が飛び跳ねるように泳ぐ様子が聴こえてきます。 	12. 歌唱		ます(青木忠教訳詞、シューベルト作曲)

2. 第2回鑑賞授業の実施

第2回の鑑賞授業では、テーマに「自然環境音と物語(歌)」を設定し、平成20年1月21日(月)11:00~12:30の授業の後半で実施した。

この授業では第1回と同様に、自然音と演奏(音楽)を組み合わせた鑑賞を試みることにした。第2回では特に物語の歌を取り上げて鑑賞した。

外国曲は、物語の内容が理解できるように訳詩による歌唱を行った。但し、レーヴェ作曲「オールフ氏」(部分)と「詩人のトム」は、言葉の意味に集中せず、単純な音としての音楽に集中することを意図して、ドイツ語での原語歌唱とした。

コメントと演奏を交互に行い、コメントでは「音」に関連する話を、生徒の学習活動や生活活動の話題と絡め、できるだけゆっくりとした口調で行った。

尚、今回鑑賞する自然音は、市販の効果音CD(註4)の中から筆者のイメージにできるだけ近い音を選択し、鑑賞授業に加えた。

曲目、選択曲のテーマ、コメント内容等、具体的な内容は【表2】を参照されたい。

【表2】鑑賞指導内容2「自然環境音と物語（歌）」

(コメント時間+演奏時間=合計40分)

テーマ	コメント内容（台本）	順序等	効果音	曲目
お話の歌	<ul style="list-style-type: none"> まずは一曲聴きましょう。 	1. 歌唱		桃太郎 （文部省 唱歌、岡 野貞一作 曲） （第1・2 節のみ演 奏）
	<ul style="list-style-type: none"> みんなも知っている「桃太郎」のお話の歌でした。 他にもお話になっている歌がたくさんあります。 次に歌う歌は、小さなムシ「ノミ」のお話です。「ノミ」は、人や動物にくっついて、血を吸ういやなムシです。「ノミ」に住みつかれると、体中痒くて、痒くてたまりません。 そんな「ノミ」を「王子」のようにかわいがる「王様」のお話です。 	2. 歌唱		のみの歌 （堀内敬 三訳詞、 ムソルグ スキー作 曲）
お話の中の効果音	<ul style="list-style-type: none"> お話の歌はたくさんありますが…。 お話の中の音をピアノで鳴らして、よりおもしろい歌を作ろうとした作曲家もいます。 例えばこの音は、「大きな時計の鐘の音」です。 	3. 効果音	「12時の鐘」	
	<ul style="list-style-type: none"> この音を、ピアノでこのような音にしています 	4. ピアノ		レーヴェ 作曲「時 計」から鐘 の音部分 （ピアノソ ロ）
	<ul style="list-style-type: none"> 同じ鐘でも、この音は「教会の鐘の音」です。 	5. 効果音	「教会の鐘」	

	<ul style="list-style-type: none"> その教会の鐘が結婚式の日に鳴ったら、このような音と歌が聴こえてきます。 	6. 歌唱	レーヴェ 作曲「オー ルフ 氏」から 教会の鐘 音部分 (ドイツ語 歌唱付で 演奏)
「詩人のトム」の音	<ul style="list-style-type: none"> バラード「詩人のトム」。この歌では、ピアノから色々な音が聞こえてきます。 最初の部分では、このような音が聞こえてきます。 	7. 効果音	「奥入 瀬の流れ」
	<ul style="list-style-type: none"> よく聞くとこんな音も聞こえます。 これは、規則正しく動く「水車小屋の音」です。 	8. 効果音	「水車」
「詩人のトム」のお話を音で紹介	<ul style="list-style-type: none"> それでは自然の音を聞きながら、「詩人のトム」のお話を紹介しましょう。 場所はハントリー城の近く、キーゼル川のほとり…。 詩人のトムが、のんびりと横になって、「詩」を考えていました。 たとえば、こんな風に…。 	9. 効果音	「百花 繚乱 (花が 咲き乱 れる、 蝶が舞 う)」
	<ul style="list-style-type: none"> そこへ美しいブロンドの女性が白馬に乗ってやって来ます。 馬には銀の鈴が付いていました。 女性が馬のひもを引くと、銀の鈴が明るく響きました。 	10. 効果音	「馬車 と鈴の 音」
	<ul style="list-style-type: none"> トムは、帽子を取って跪き。挨拶をしてこう言います。「あなたは、天国の女王様。この世の人ではありません。」。 すると、その女性は…、「私は天国の女王ではありません。妖精の女王です。」。 そして、魔法の呪文のように続けてこう言います。 	11. 効果音	「魔法 をかける」

	<ul style="list-style-type: none"> ・「私といっしょに行きたければ、7年間、帰ってこれませんよ」。 ・するとトム…、「7年間、恐ろしいことなどありません」。 ・それを祝福する、小鳥のさえずりが聞こえます…。 	12. 効果音	「ヒバリ」	
	<ul style="list-style-type: none"> ・そして、暖かい太陽の日差しの中、二人は白馬に乗って、幸せそうに駆けていきました。 	13. 効果音	「ウマ2（一頭走行通過）」	
	<ul style="list-style-type: none"> ・妖精が馬の紐を引くと、銀の鈴が明るく響きました…とさ。 	14. 効果音	「馬車と鈴の音」	
	<ul style="list-style-type: none"> ・ドイツ語で歌います。 ・どんな音が聞こえてくるか、ピアノの音から想像しながら聞いてください！ 	15. 歌唱		詩人のトム(ドイツ語歌唱、レーヴェ作曲)

Ⅲまとめ

以上が鑑賞授業の授業内容である。

鑑賞授業では、授業前に行った授業観察の考察内容を受け、90分2コマの授業に対し2つの鑑賞内容を行ってきた。

これまでに観察した授業の中で見られた、生徒の「観察力と模倣の能力」「音楽と映像の刺激を知識と想像に結び付ける能力」「言葉から導く想像力」「仲間と知識や意識を共有できる能力」等、様々な能力を確かめる意味もあり、この授業では自然音と演奏（音楽）を組み合わせた鑑賞を試みた。

授業は中学部第1学年から第3学年までが合同で行い、生徒18人に音楽授業担当の教員4名が鑑賞した。

感想等アンケートの記入は時間を必要としたため、生徒へのアンケートは行わず、日頃の授業の中で生徒の様子をよく知る4名の教員に、自由記述によるアンケートを行った。

アンケートの全ての内容は【資料】を参照されたい。

教員の感想から、今回のピアノの音や歌から想像を働かせる内容は、生徒にとって新鮮であり、興味・関心の持てる題材であったことが伺えた。また、コメントにも興味を持った様子である。しかし、授業時間に2つの鑑賞内容を行ったため分量的に多く、生徒の音楽活動を含めた授業の試行も行えなかったことが課題として残った。

筆者も試行の最中に、生徒が興味・関心を持ち、意識を集中しながら鑑賞しているのを感じていたが、それが「実演による演奏を身近で鑑賞する効果によるものでは」との疑問を感じていた。しかし、教員の感想内容からテーマや題材への興味・関心が持てたことが分かり、更に「視覚的な要素を加える」という助言を受け、それらを加えることにより、実演でなくても興味・関心を高める可能性があると考えた。

筆者は、今回の研究内容を基に、語りと自然音、歌とを組み合わせた鑑賞プログラムに、視覚的要素を加えた音楽鑑賞教材の試作を行う計画である。

註

- (註1) 論文題目「特別支援学級のための音楽鑑賞教材研究Ⅰ～音楽授業観察による指導目標の考察～」宮下茂、長崎大学教育学部附属教育実践総合センター紀要、2008. 3第7号、91-96、2008年3月 参照。
- (註2) 論文題目「特別支援学級のための音楽鑑賞教材研究Ⅱ～実演奏による鑑賞授業(1)～」宮下茂、長崎大学教育学部教科教育学研究報告書、第49号、71-82、2009年3月 参照。
- (註3) 論文題目「特別支援学級のための音楽鑑賞教材研究Ⅱ～実演奏による鑑賞授業(2)～」宮下茂、長崎大学教育学部附属教育実践総合センター紀要、2009. 3第8号、159-166、2009年3月 参照。
- (註4) 今回の鑑賞授業では、以下の効果音CDを自然音として使用した。
『自然～コロンビア効果音全集(1)』(COCE32865)、『動物・鳥・虫・蛙～コロンビア効果音全集(2)』(COCE32866)、『行事・風物・売り声・梵鐘～コロンビア効果音全集(3)』(COCE32867)、『アニメSE～コロンビア効果音全集(7)』(COCE32871)

【資料】〈アンケート内容〉

1. テーマについて

本日のテーマ「歌と音のおもしろさ（音の描写～どんな音？何の音？）」は、授業に取り上げる題材としては如何だったでしょうか。生徒の興味・関心の対象になるかどうかも含めて、ご意見をお願いします。

- ① 宮下先生の歌声、ピアノの音、どちらも生徒にとっては新鮮で、生徒たちの表情をみていると、歌声や演奏に引き込まれていたのがわかりました。また先生のゆっくりとした口調のお話にも、よく耳をかたむけていました。なかなか生徒に本物を生で味あわせることができないので、とてもよい機会だったと思います。生徒たちの心にたくさんのものが響いたように思います。
- ② 歌というと、歌詞を先に見て 曲を想像していったりします。今日のように、ピアノの音や声の感じから想像していくというのは、とても新鮮でした。
- ③ 「歌と音のおもしろさ」というテーマで取り上げられた題材、大変おもしろく、生徒にとって関心の対象になるものと思われませんが、少々盛りだくさんという印象を受けました。これらの内容は3回程度の授業に分散することもできるかもしれないと思いました。
- ④ とても楽しく、生徒にとって興味深い題材だったと思います。

2. 鑑賞指導① 自然環境音と歌（含ピアノ曲）について

鑑賞指導①では、自然環境音と歌やピアノ曲を交互に聞き、想像を働かせる内容になるよう試みました。良い点、悪い点、改善すべき点等、お気づきの点がございましたら、ご意見をお願いします。

- ① 今までの音楽の授業でも自然環境音と歌や楽器を結びつけて聴かせ、イメージを広げることができればというところみをしてきました。本日の授業もその点では、とても自然なかたちで生徒に受け入れられていたと思います。
- ② 交互にきくと、とてもわかりやすかったと思います。（生徒にとっては）1曲でも先生と一緒に歌ってみれたら、もっとよく曲をかんじることができたかもです。
- ③ 大変おもしろいと思いました。自然環境音と歌、ピアノ曲に間に視覚的なもの、例えばペープサートなどあれば、生徒もちょっと動かしたりして、もっとイメージが広がると思われました。
- ④ たくさんの音をとりいれ、工夫されていました。学ばせていただくことが、たくさんありました。

3. 鑑賞指導② 自然環境音と物語（歌）

鑑賞指導②では、自然環境音と物語を結び付け、想像を働かせる内容になるよう試みました。（前半の内容は、小学生対象程度の物語り曲の選択にしております

した。) 良い点、悪い点、改善すべき点等、お気づきの点がございましたら、ご意見をお願いします。

- ① 自然環境音と物語を結びつけるのは、劇などの学習では本校でも行います。イメージしやすい音を効果音として劇に入れます。今日の授業は、その逆で、音から物語ということだったので、やや、生徒によってはイメージをもつのが難しかったように思います。絵本の挿絵で紙しばい、写真などの視覚的な手がかりがあれば、物語と音を結びつけてイメージを広げることができるように思います。
- ② とても新鮮でよかったと思います。日本語の方が、想像がしやすかったとは思いますが。
- ③ 上記と同様に、視覚的なものをとりました。
- ④ 桃太郎の歌や「ノミ」のお話など、生徒たちはとても熱心に聞いていました。

4. その他 お気づきの点がございましたら、ご意見をお願いします。

- ① 鑑賞の授業は、歌唱や演奏（器楽）の授業のように目に見える（音として）形や、活動として、表現するという形にならないため、生徒たちに楽しさを感じさせたり、あるいは感じたことを表現させたりということが難しく、授業をどのようにもっていくかとても悩むところです。私たちは、感じたことを言葉（感想を言ったり書いたりする）だけでなく、身体全体を通して、あるいは楽器やいろいろな手具を使って表現できればと考え、授業に取り組んでいます。その際、音楽的（専門的に）どのようなことを注意すればよいのか、他にどのような指導法があるのか、アドバイスいただければと思います。
- ② いつも授業をみにきて下さり、本当にありがとうございます。これからも指導助言、よろしくお願いします。
- ③ とてもすばらしい授業、ありがとうございます。途中で生徒の身体運動的な物があれば、と思いましたが、ぜひ、これからも、このような授業をお願いできたらと思いました。
- ④ 宮下先生のステキな歌声と、田中さんのすばらしい伴奏に感動しました。生徒も、とても楽しい授業だったと思います。ありがとうございました。

※項目外の追記

- ① 貴重なお時間を使って授業をしていただき、私たち教師にとっても、とても勉強になった授業でした。昨年度より何度も学校に来ていただき、生徒の様子を見ていただき、先生自ら授業をしていただいたことに、大変感激しています。これからも是非、このような機会がもてればと思います。